

令和元年7月7日 発行

八葉山 天台寺 だより 第7号

天台寺本堂・仁王門保存修理工事現況報告

本堂の姿が5年ぶりに現れました。これまで仮設の覆屋の中にありました本堂が屋根葺き工事が終わり5年ぶりに見ることができました。ただこれから外構工事（屋外仕上、排水、電気設備等工事）がありますので、中での参拝はまだできません。仁王門は仮設の覆屋の中で既存建具・造作修繕を行い、8月頃には仮設を取り外し外構工事を行います。

また修復工事最後の段階では、防災施設等整備事業（自動火災報知設備、消火設備、避雷設備、監視設備、環境整備等）を追加実施することになりました。

以下、工事進捗状況を写真にて報告いたします。今後とも、ご支援、ご協力をお願いします。



本堂は約360年前、江戸時代前期の建物です。今回屋根を建設当初と同じ手法で杉板を重ねる「とち葺ぶき」に復原いたしました。



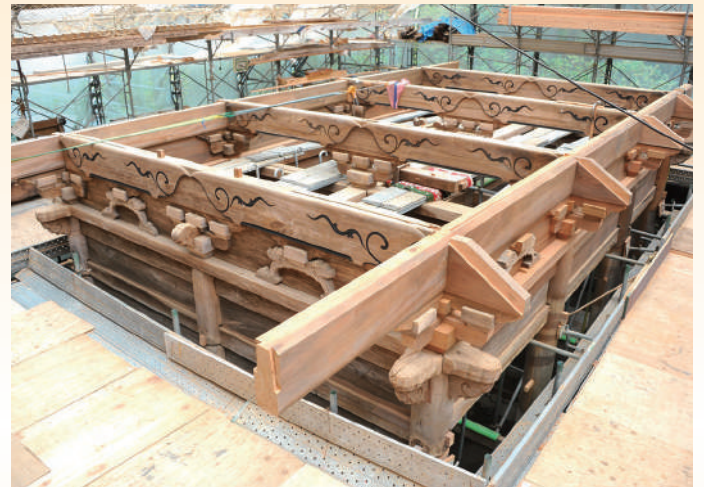
本堂屋根に板を葺いていく様子



以前仏像を納めていた厨子ずしの階段の塗り直し



修理のため解体した部材を、元のように組み直す



はりはり梁まで組み立てられた状態の仁王門



仁王門の屋根下地の組み立て



こけら葺き（厚さ3mmの板で葺くこと）が施された仁王門の屋根

<写真提供>公益財団法人 文化財建造物保存技術協会

天台寺保存修理事業へのご寄進を随時受け付けておりますので、ご支援、ご協力をお願い申し上げます。

<寄進方法>

郵便振替（ゆうちょ銀行）口座 02230-1-106184 天台寺本堂等修復事業推進委員会
〒028-6942 岩手県二戸市浄法寺町御山久保33 八葉山 天台寺 (TEL・FAX:0195-38-2500)

(題字「天台寺」は、南北朝時代・正平18年(1363)に奉納された銅鰐口の銘で、現存資料中寺名が記された最も古いものです。)